

令和3年産 仙台麦作情報

2020・9・8 第1号
宮城県仙台農業改良普及センター
Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296
<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

～年内の栽培管理のポイント～

1. 初期生育の確保 → 収量・品質の向上 → **適期播種**
2. 稈の強剛化, 徒長・茎の早立ちの防止 → **麦踏み**

令和2年産の生育概況（大麦）

- ・令和元年東日本台風（台風19号）や令和元年10月の大雨の影響により、播種が遅れたほ場が多く見られました。その後、12月上旬に一時的な低温もあり年内生育量は少なめでした。
- ・年明け後は、4月中下旬の低温を除き高温傾向が続いたため、生育は回復傾向となりました。
- ・生育調査ほ（大和町、ホワイトファイバー）における幼穂形成始期は3月9日で前年より29日遅く、出穂期は5月3日で前年より8日遅く、成熟期は6月12日で前年より9日遅くなりました。
- ・収穫期間は、概ね晴天に恵まれ、適期に収穫できました。
- ・生育調査ほにおいては、播種の遅れと出芽後の低温により、越冬前、越冬後の生育量が前年を下回ったため、収量は前年に比較して60%程度となりました。

令和3年産の栽培管理

1. ほ場準備

① 碎土率の向上

- ・直径2cm以下の小土塊の作土における比率が70%以上を目標とします。

→ **出芽率向上や除草剤の効果を最大限に発揮**させることにつながります。

- ・粘土質のほ場では、碎土率を高めすぎると播種後の降雨で土がしまりやすくなるので注意が必要です。



【写真1】

中央から左側が碎土率70%以上の状態です。

②排水対策

出芽前後は湿害を受けやすいので、転換畑では特に、播種前に明きよ・暗きよを施工して排水対策を行いましょう。

○明きよ

- ・額縁に沿って深さ 30~50cm 程度の溝を設けましよう。
- ・明きよと排水溝は、必ず連結させましよう。
- ・排水不良のほ場は、圃場内にも 5~10m の間隔で明きよを掘り、ほ場外へ排水できるようにしましよう。

○暗きよ

- ・本暗きよと補助暗きよを組み合わせて施工してください。
- ・補助暗きよは、弾丸暗きよ・心土破碎が一般的です。

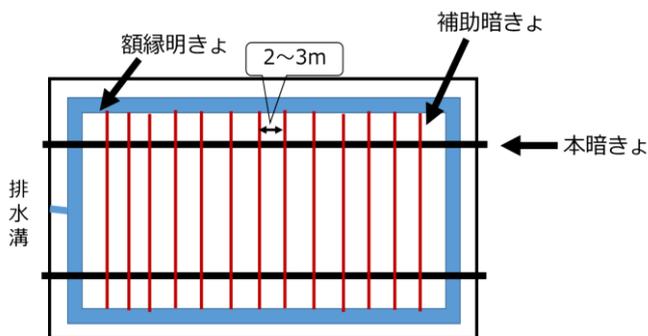


図1 排水施行の例

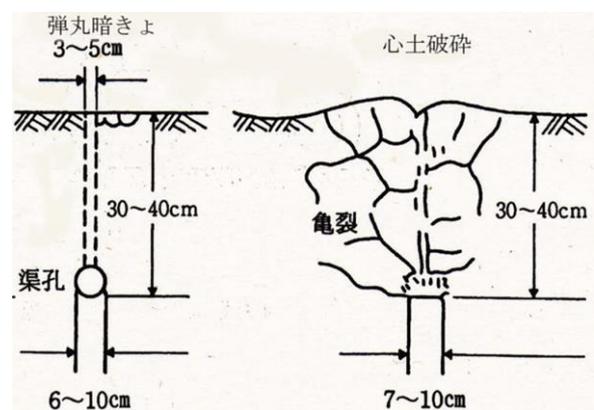


図2 弾丸暗きよ・心土破碎

③土づくり

○酸度矯正

- ・大麦では pH 6.1~ 7.0, 小麦では pH 5.6~ 6.5 と、微酸性~中性の土壤酸度を好みます。転換畑の土壤酸性は通常 pH 5.0~ 6.0 程度なので、酸度矯正は小麦より大麦でより重要となります。

○地力増進

- ・堆肥等を投入し、地力維持に努めましよう。
- ・有機物は土壤の物理性の改善、微生物の増殖、緩効的養分供給の効果があります。

④基肥

- ・「稲は地力で、麦は肥料でつくる」と言われるように、麦には稲より多量の肥料が必要です。麦の生育期間は長く、冬期に生育が一時停滞するため、麦の施肥は生育ステージに応じた必要量を分施するのが基本です。

- ・基肥では越冬前の生育量を確保し，越冬後の追肥では穂数の増加や1穂粒数・千粒重を高める効果があります。
- ・基肥標準施肥量
N（窒素）8～10kg，P（リン酸）8～10kg，K（カリウム）10kg / 10a
- ・**稲わらを鋤き込んだほ場では，窒素を1～2割増で施用してください。**
- ・基肥を増量することによる生育促進効果は低いため，播種が遅れた場合でも，上記の基肥標準施肥量の範囲で施用し，増量はせず，生育の調整は追肥を主体に考えましょう。

2.播種

①適期播種

仙台地域…10月15～20日頃（晩限：10月30日）

黒川地域…10月5～10日頃（晩限：10月20日）

- ・天気が変わりやすい可能性があり，秋雨により，ほ場の条件に恵まれず播種遅れとならないよう，適期に達し次第いつでも播種ができるよう早めに準備を進めましょう。
- ・播種が遅れると，様々な弊害が生じます。

○播種遅れによる弊害

- ・出芽遅れによる初期生育量の不足，根張りの不良，莖数不足，出穂のバラつき，未熟粒の発生等が挙げられます。
- 結果として，収量と品質の低下につながります。
- 適期播種を行い，越冬前に十分な生育（特に莖数）を確保しましょう。
- ※越冬前の目標莖数（目標収量500kg/10a）：400～500本/m²
- 気温の高い播種適期のうちに播種をすることで，分けつを確保しやすく，目標莖数の確保が容易になります。**

②播種量と播種深

- ・播種量：250粒/m²（重量換算したものを，表1に示します。）
 - ・播種方法：ドリル播き
 - ・条間：20～25cm，播種深：3cmが目安。
- ※**播種が遅れてしまった場合は，播種量を増やすことで出芽本数の確保に努めましょう。**

表 1 播種量の目安

| | 品種 | 千粒重 (g) | 播種量 kg/10a |
|----|-----------|------------|---------------|
| 大麦 | シュンライ | 38.5 | 9.6 |
| | ホワイトファイバー | 36.5 | 9.1 |
| 小麦 | ミノリムギ | 36.1 | 9.0 |
| | シラネコムギ | 42.7 | 10.7 |
| | 夏黄金 | 40.4 | 10.1 |

3. 雑草防除

- ・前年の雑草の発生が多いほ場では、必ず土壌処理剤を散布しましょう。
- ・土壌処理剤の効果を上げるためには、ほ場の碎土率を上げる、早めの散布（播種翌日まで）、適度な土壌水分時の散布をすることを心掛けましょう。
- ・土壌乾燥時に散布する場合は登録範囲内にて希釈内にて希釈水量を多くしましょう。

4. 麦踏み（踏圧）

- ・麦踏みは他の作物には見られない生育調節のための管理作業です。特に冬期の乾燥、強風、暖冬時には、麦踏みの効果が高く現れます。
- ・遅播きの場合は、麦の生育量が足りず茎が折損する恐れがあります。過湿ほ場の場合、耕土を固結させて根の発育を阻害する恐れがあります。いずれも逆効果となるので、**麦の生育状況とほ場の状況にご注意ください。**

表 2 麦踏みの効果について

| | 効果 |
|-----|---|
| ○土壌 | 霜害・干害による被害の軽減 強風による土移動の軽減と防止 |
| ○麦 | 耐寒性・耐干性の強化 徒長や茎の早立ちの防止 分けつの増加 穂揃いの均一化 稈の剛強化 |

- ・麦踏みの時期は、一般的には離乳期（3～4 葉期）から茎立ち前（主稈長は 2cm 程度で、その際の幼穂長は 2mm 程度）までとなります。
- ・1 回目はほ場に凍結層ができる前（12 月上中旬）に行います。また、生育のバラツキを解消するためには、生育が再開する起生期以降（3 月上中旬頃）に行いましょう。
- ・**年内の麦踏み可能な姿とするため、適期播種が必須です。**
- ・「ホワイトファイバー」は、「シュンライ」と比べて、多収であり品質も優れますが、倒伏しやすいので、確実に実施しましょう。

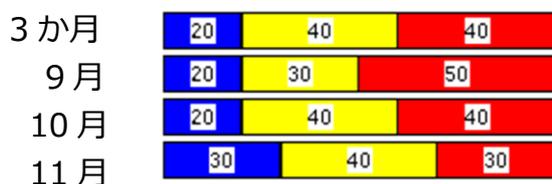
東北地方 3 か月の気象予報（8/23 仙台管区気象台発表）

- ・ 9月
平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。気温は平年並みか高くなる予報です。
- ・ 10月
天気は数日の周期で変わり、気温は平年並または高い見込みです。
- ・ 11月
平年と同様に晴れの日が多く、気温は、平年並または高い見込みです。

<向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率（%）>

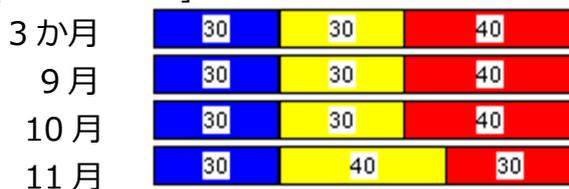
【気 温】

[東北地方]



【降 水 量】

[東北太平洋側]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

【まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全】

秋の農作業安全確認運動 ～令和2年9月15日から11月30日まで～